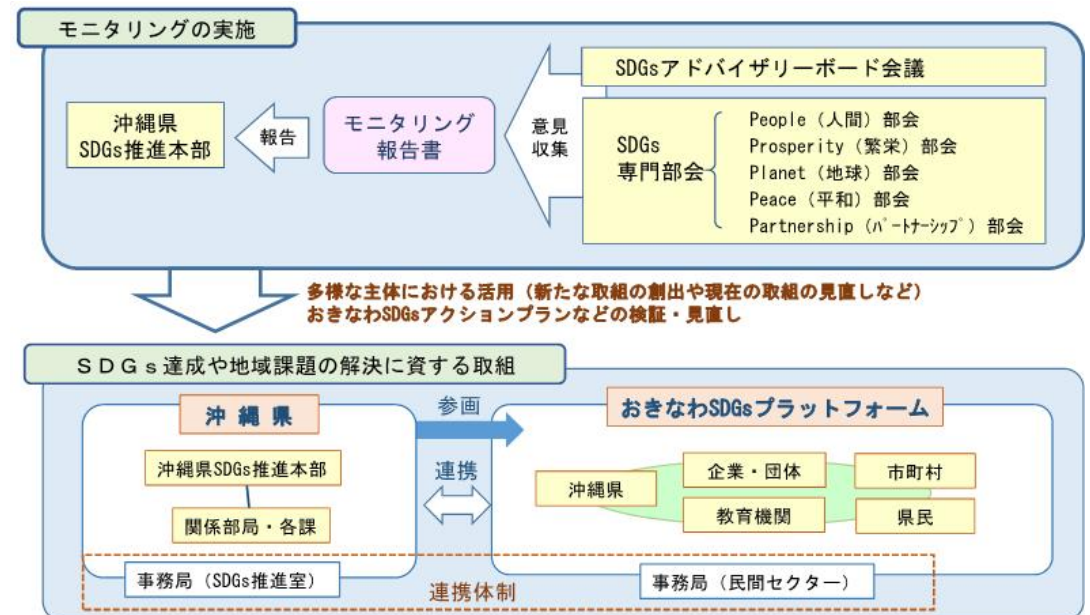
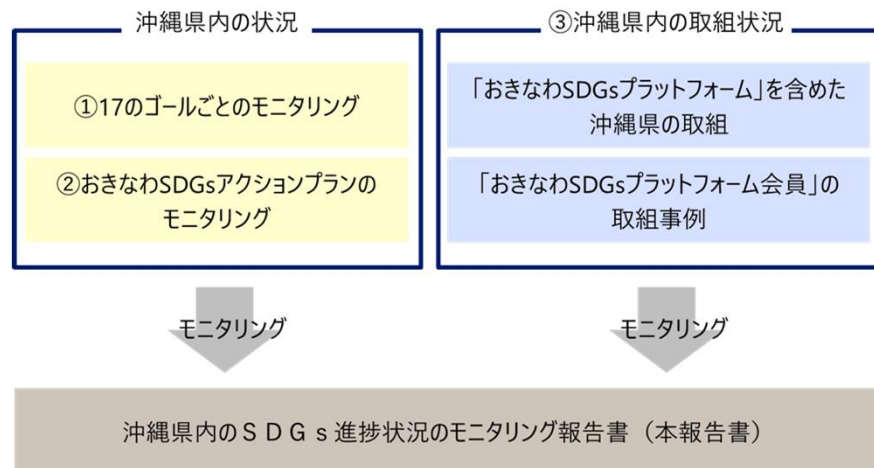


1 SDGs進捗状況のモニタリングを実施する背景

- (1) SDGsの主要5原則に「透明性と説明責任」が位置づけられている。
- (2) 国の持続可能な開発目標（SDGs）実施指針」において、地方自治体の期待する取組として、「進捗を管理するガバナンス手法を確立すること」及び「情報発信と成果の共有としてSDGs達成に向けた取組を的確に測定すること」、「ローカル指標を設定すること」が位置づけられている。
- (3) 「沖縄県SDGs実施指針」では「取組状況等のモニタリング（進捗のフォローアップ）を実施すること」、「SDGs達成に向けた進捗状況等を、多くの人々の参画のもと透明性をもって点検し、フィードバックを図ること」を位置づけている。
- (4) 上記を踏まえ、「沖縄県内の状況（設定した指標に基づく評価）」と「沖縄県内の取組状況（取組事例の共有）」の2つの視点から「沖縄県内のSDGs進捗状況のモニタリング報告書」をとりまとめた。

2 モニタリングのプロセス

- (1) 沖縄県内の状況
 - ① 17のゴールごとのモニタリング
全国値と比較可能な「共通指標」と地域特性を補完する「ローカル指標」を設定。年次でデータ取得が可能なものを選定して評価した。
（国連や内閣府等が提案しているローカル指標を参考に選定）
 - ② 「おきなわSDGsアクションプラン」のモニタリング
「12の優先課題」の「SDGs推進の目標」に位置づけた「ローカル指標」について評価した。
- (2) 沖縄県内の取組状況
おきなわSDGsプラットフォームや沖縄県の取組、プラットフォームの会員の活動を取りまとめた。
- (3) モニタリングの推進体制
「SDGs専門部会」や「SDGsアドバイザリーボード」の意見を収集しながら報告書を取りまとめ、「沖縄県SDGs推進本部」において報告する。報告後に報告書を公表。様々なステークホルダーにおける活用が期待される。



3 17のゴールごとのモニタリング

(1) 設定した85指標の内、前進した指標が21件（24.7%）、横ばいの指標が46件（54.1%）、後退した指標が14件（16.5%）であった。※その他（前年値のデータが無い指標）の指標が1件、3/18時点で調査中の指標が3件

(2) 上記の前進している指標の割合や、右図の結果は選定した指標が変わると大きく変化することに留意が必要である。※当該結果は沖縄県内のSDGsの進捗状況の評価を確定するものではなく、今回選定した指標により評価した結果である。

(3) 各指標ごとの評価結果は報告書に記載している。

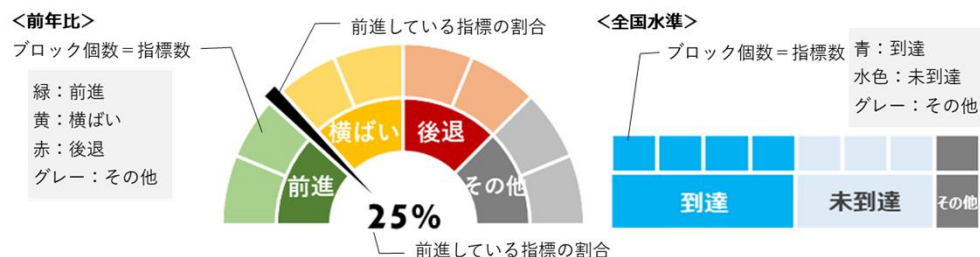
設定した指標の前年比、全国水準の評価基準一覧

評価	「前年比」の評価基準
前進	前年値と比較した現状値の変化率が小数第二位で四捨五入した結果が+5.0%以上（前進の方向を+として評価）
横ばい	前年値と比較した現状値の変化率が小数第二位で四捨五入した結果が-5.0%より大きく5.0%未満
後退	前年値と比較した現状値の変化率が小数第二位で四捨五入した結果が-5.0%以下（後退の方向を-として評価）

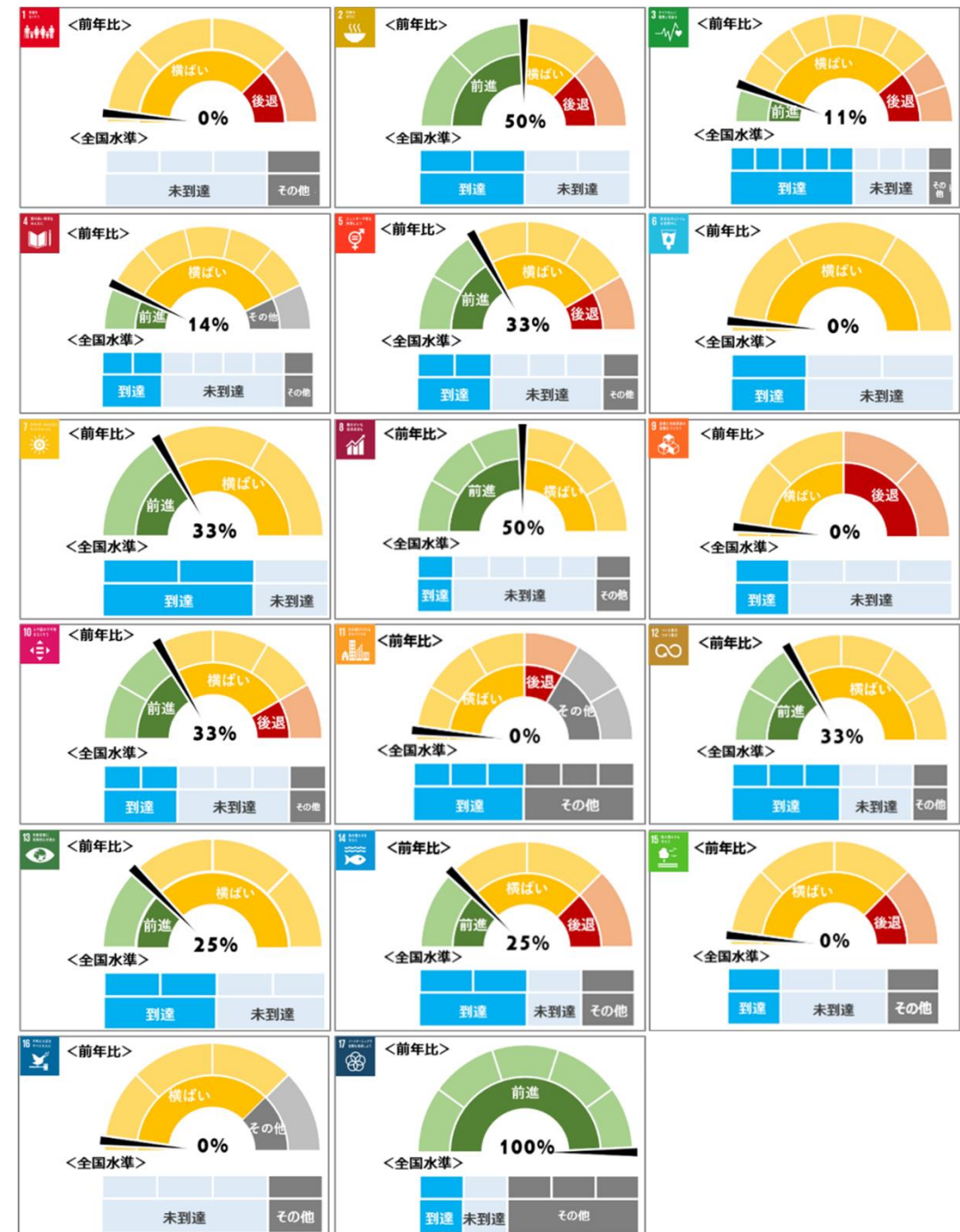
$$\text{変化率（\%）} = (\alpha \text{ 年度値} - (\alpha - 1) \text{ 年度値}) / ((\alpha - 1) \text{ 年度値}) \times 100$$

評価	「全国水準」の評価基準
到達	全国値に到達している指標
未到達	全国値に未到達な指標

前年比、全国水準との比較 パネル表示の概要



17 のゴールごとの前年比、全国水準との比較 ※数値は前進した指標の割合



4 「おきなわSDGsアクションプラン」のモニタリング

(1)「おきなわSDGsアクションプラン」において、以下の12の優先課題ごとに、「SDGs推進の目標」、「ローカル指標」を設定しており、この指標に基づき評価を行った。

全体の進捗の状況

「SDGs推進の目標」 項目数	ローカル 指標数	R6年度進捗状況 (対基準値)				特記事項
		前進	横ばい	後退	その他	
39 項目	59 項目	34項目 (57.6%)	12項目 (20.4%)	10項目 (16.9%)	3項目 (5.1%)	その他指標 とは、基準 値取得以降 データ未更 新の指標等。

変化率(%)=(α年度値－基準値)/(基準値)×100
 また、各指標の達成度(対目標値)は、以下の計算式で算出します。
 達成度(%)=(α年度値－基準値)/(目標値－基準値)×100

主な前進・後退指標（ローカル指標）

【前 進】

○ 優先課題1

- ・(「県(知事部)の課長相当職以上に占める女性の割合」(R3:16.4%、R6:21.4%))
進捗状況は前進しており、女性職員を幅広い分野業務へ配置し職域の拡大に努めたことにより増加している。

○ 優先課題6

- ・(「公共交通利用者数」(R2:28,721千人、R4:38,248千人))
進捗状況は前進しているが、新型コロナウイルス感染症流行前の乗客数には回復していないため、今後の乗客数回復状況を注視する必要がある。

○ 優先課題10

- ・(「自主防災組織率」(R2:33%、R5:41.4%))
進捗状況は前進しており、市町村、消防職員、自主防災組織員、自治会向けの研修などの取組を背景に増加している。

【後 退】

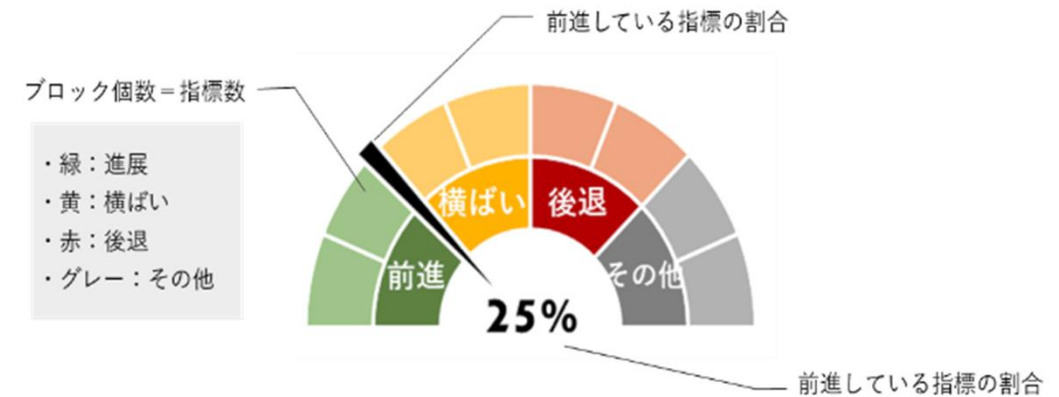
● 優先課題5

- ・(「那覇空港の貨物取扱量、那覇港の外貨取扱貨物量」(R2:空港18万ト、那覇港137.4万ト、R5:空港18万ト、那覇港115万ト))
国際航空便は復便が進んでいるものの、国際貨物量はコロナ禍前の水準に回復していないため、後退している。

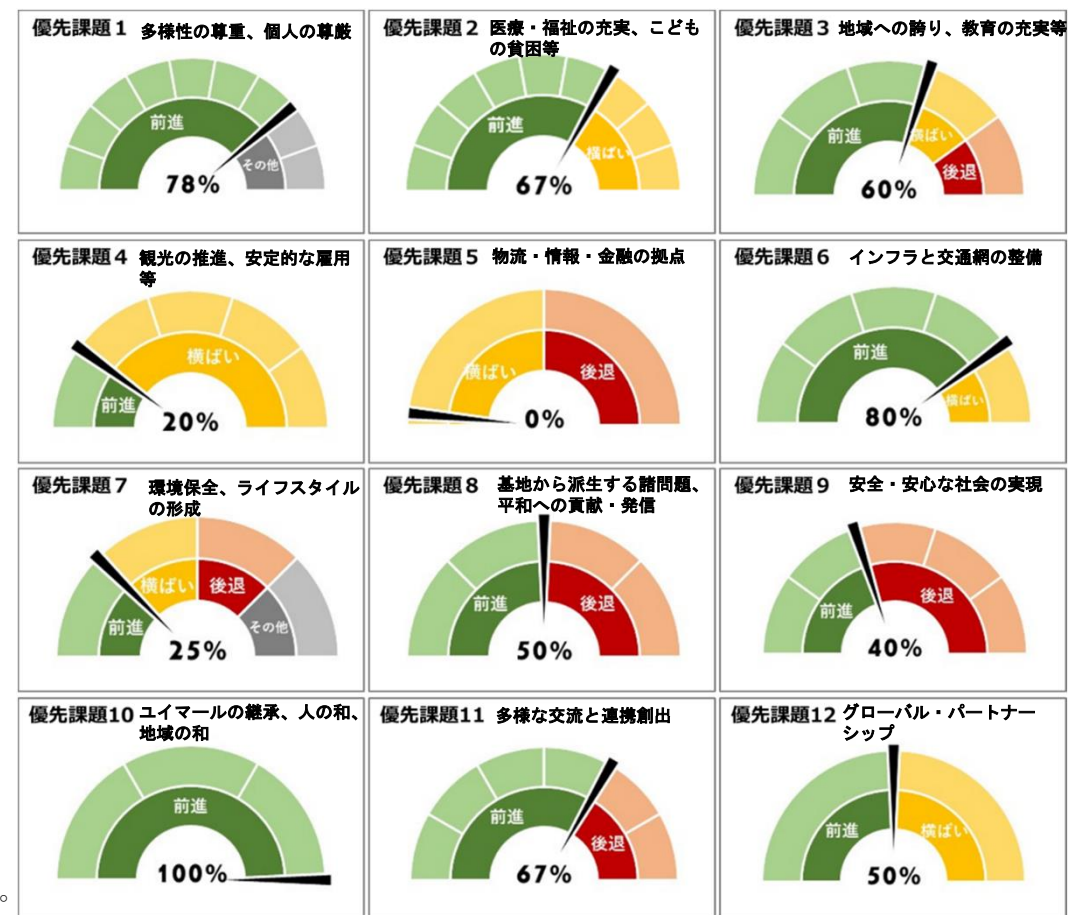
● 優先課題9

- ・(「過去1年間の児童相談所における児童虐待相談の対応件数」(R2年度:1,835件、R4年度:2,585件))
基準年度(R2年度)から児童虐待相談の対応件数は増えている(最新値はR4年度)。引き続き、虐待の未然防止に向けて取り組む必要がある。

【進捗状況のパネル表示の概要】



12の優先課題ごとの状況 ※数値は前進した指標の割合



5 沖縄県内のSDGs活動状況

(1)「おきなわSDGsプラットフォーム」を含めた沖縄県の実取組

県では2022年度から2031年度の振興企画である「新・沖縄21世紀ビジョン基本計画」にSDGsを取り入れ、総合的に施策を展開している。

様々な主体とともにSDGsを推進する指針「沖縄県SDGs実施指針」やSDGs推進の目標やローカル指標などを取りまとめた「おきなわSDGsアクションプラン」を策定している。

これらに基づき、SDGsの普及、多様な主体の参画の促進、情報共有や連携促進に向けた支援などの取組を実施している。

2024年度の主な取組事例を以下に記載する。

①普及啓発の取組

県の広報番組、広報誌を通じたSDGs関連の発信
ラジオ番組による情報発信（9回）（R7.2月末時点）
県及び市町村向けSDGs研修

県民参加型イベント開催（みんなでSDGs 5件）
「SDGs全国フォーラム 2024 沖縄」の開催 等

② SDGs参画促進

「おきなわSDGsパートナー」登録制度では
1,082団体が登録されている（R7.3.2時点）。
「おきなわSDGsプラチナパートナー」認証
制度では、令和6年度は新たに8団体を認証
した。



③ 情報共有や連携促進に向けた支援

「おきなわSDGsプラットフォーム」のポータル
サイトトップページのリニューアルや、記事
（事務局が取材したプラットフォーム会員の取
組紹介記事（12本）と、会員自らが作成したレ
ポート（46本））掲載等の会員情報発信の支援
を行った。またセミナーと交流会を各3回開催。
「プロジェクトチーム」については、令和6年
度は計3チームから申請があった。（令和5年度
と合わせて計6チーム）



ポータルサイト

(2) SDGs全国フォーラム

①SDGs全国フォーラム2024 沖縄

SDGsの推進による地域課題の
解決や地方創生の実現、パート
ナーシップ形成促進などを目標
して、「沖縄らしいSDGsを次世
代に繋ぐ」を全体コンセプトに
開催した。フォーラムでは、世
界、国、地域レベルでのSDGsの
取組や、今後のSDGsの方向性、
観光と環境保全の両立等につ
いて話われましたほか、高校生、
大学生によるメッセージの発表
が行われた。また、企業・団体
や自治体によるSDGsの取組に
関するブースが設置させるなど、
様々な観点からSDGsを考える
フォーラムとなった。



②「SDGs全国フォーラム」サイドイベント

(7) SDGsユース沖縄会議2024「遊びながら、未来を語る」

「SDGsゲーム」を幅広い年齢層の方々が
体験し、若者同士でSDGs後半戦・ポスト
SDGsに関連して「未来を語る」イベントを
開催した。



(イ) 内閣府・地方創生SDGs官民連携プラットフォーム マッチングイベント「官民MEET沖縄」

地方創生SDGsを達成するため、各自治
体が抱える地域課題について官民連携を
軸に解決することを目指し、自治体、民
間団体のマッチングの場としてイベント
を開催した。

